*
* 令和 4 年度 第 4 回 高 梁 市 農 業 委 員 会 総 会 会 議 録 *
*

高 梁 市 農 業 委 員 会

6. 会議に出席した職員の職氏名

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
事務局長	内田弘樹				
次長	中藤宏和				
書記	三宅秀生				

7	本日の会議に付した議題とその結果				
	議案番号	件名		結果	
	第11号	農地法第3条の規定による許可申請について	4件	許可	
	第12号	農地法第5条の規定による許可申請について	1件	許可	
	第13号	農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定について	10件	決定	
	第14号	高粱農業振興地域整備計画の変更について		適当	
	第15号	有漢農業振興地域整備計画の変更について		適当	
	第16号	川上農業振興地域整備計画の変更について		適当	
	第17号	備中農業振興地域整備計画の変更について		適当	
8	署名委員				
		16番	清水健治		
		1番	深本文雄		
9	議事の内容				
	令和4年度 第4回高粱市農業委員会総会会議録				
	令和4年7月11日(月) 高粱市役所 3階大会議室				

議 長	<p>本日の出席委員は、農業委員16名、推進委員7名です。過半数以上の委員が出席されていますので、会議は成立しております。只今から令和4年度第4回高梁市農業委員会総会を開会します。まず、本日の会議の議事録の署名委員の指名を行います。16番清水委員と1番深本委員を指名いたします。それでは、議事に入ります。「議案第11号 農地法第3条の規定による許可申請について」を議題といたします。5番について事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第11号5番朗読説明 －</p> <p>5番は、譲受人が、譲渡人から、新規就農により申請農地の所有権を取得する案件です。申請農地は、畑1筆178㎡です。譲受人の通作距離は、10m以内、耕作面積は、後の議案第13号4番で利用権設定した後に843㎡。家族2人中耕作人は2人、対価は10aあたり5万6千円です。また、営農計画書の提出があります。これらのことから、取得に必要な農業委員会が定める下限面積を超えており、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、7月5日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、4ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
議 長 平松委員	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんからご報告をお願いします。</p> <p>申請農地の場所については、4ページに記載してあるとおり、譲受人は今回申請のあった農地のすぐ隣の方です。今までも管理されていた家の隣の農地を正式に譲り受けて管理するというものです。現場には赤線道も通っており、管理するのに何ら問題とすることはないと考えます。ご審議よろしくをお願いします。</p>
議 長	<p>現地の状況については、ただ今の報告のとおりです。何か発言はありますか。</p>
議 長	<p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
議 長	<p>なしとの声がありました。5番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p>
議 長	<p>(挙手全員)</p>
議 長	<p>挙手全員ですので、5番については許可とすることに決定しました。</p>
中藤次長	<p>次に6番について、事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第11号6番朗読説明 －</p> <p>6番は、譲受人が、譲渡人から、増反により申請農地の所有権を取得する案件です。申請農地は、畑1筆366㎡です。譲受人の通作距離は、0m以内、耕作面積は7,300㎡。家族1人中耕作人は1人、対価は10aあたり9万6千円です。これらのことから、取得に必要な農業委員会が定める下限面積を超えており、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、7月6日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、5ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
議 長 山川委員	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんからご報告をお願いします。</p> <p>申請農地については、何も作物を植えてありません。きれいに管理されておりました。周辺の状況についてもきれいに管理されておりました。何ら問題ないものと考えます。ご審議よろしくお願いたします。</p>
議 長	<p>現地の状況については、ただ今の報告のとおりです。何か発言はありますか。</p>

議 長	<p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p> <p>なしとの声がありました。6番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p>
議 長	<p>(挙手全員)</p> <p>挙手全員ですので、6番については許可とすることに決定しました。</p>
中藤次長	<p>次に7番について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">－ 議案第11号7番朗読説明 －</p> <p>7番は、譲受人が、譲渡人から、贈与により申請農地の所有権を取得する案件です。両者は親族ではない中で、譲受理由が贈与となっているのは、譲渡人が以前はこの地域に住んでおり、譲受人の祖父や父と知り合いであったことから、農地の管理が負担になっていた中で、両者の合意により今回の申請になったと聞いております。申請農地は、田2筆978㎡と畑1筆33㎡の計3筆1,011㎡です。譲受人の通作距離は、0.1km以内、耕作面積は0㎡。家族3人中耕作人は1人、対価は無償です。なお、祖父や父とは同居していない関係で、耕作面積がないため、営農計画書の提出をしていただいておりますが、農業は共同で行うとのことです。これらのことから、取得に必要な農業委員会が定める下限面積を超えており、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、7月8日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、6ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
議 長 小野委員	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんからご報告をお願いします。</p> <p>この案件の子細については、ただ今の事務局の説明のとおりでございます。現地についてですが、現在きれいに稲を作付されておりました。何ら問題ないと考えます。ご審議よろしくお願いたします。</p>
議 長	<p>現地の状況については、ただ今の報告のとおりです。何か発言はありますか。</p>
議 長	<p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p> <p>なしとの声がありました。7番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p>
議 長	<p>(挙手全員)</p> <p>挙手全員ですので、7番については許可とすることに決定しました。</p>
中藤次長	<p>次に8番について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">－ 議案第11号8番朗読説明 －</p> <p>8番は、譲受人が、譲渡人から、贈与により申請農地の所有権を取得する案件です。両者は親族ではない中で、譲受理由が贈与となっているのは、譲渡人が7番の譲渡人の娘であることによるものであり、理由は同様となっております。申請農地は、田1筆1,109㎡です。譲受人の通作距離は、0.1km以内、耕作面積は0㎡。家族3人中耕作人は1人、対価は無償です。これらのことから、取得に必要な農業委員会が定める下限面積を超えており、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、7月8日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、6ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>

議 長 小野委員	事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんからご報告をお願いします。 本案件につきまして、7番と同じ場所でありまして、同じように耕作されていて、何ら問題ないと思われま。ご審議よろしく お願いいたします。
議 長 西村委員 中藤次長 小野委員 西村委員 中藤次長 西村委員 議 長	現地の状況については、ただ今の報告のとおりです。何か発言はありますか。 質問なのですが、譲渡人のおじいさんは生きていますか。 いえ、亡くなれております。 本案件は代襲相続になります。 代襲相続とはどういうものか。 子が亡くなっている場合に孫に直接相続するものです。 わかりました。 他にありますか。
議 長	(「なし」と呼ぶ者あり。)
議 長	なしとの声がありました。8番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)
議 長	挙手全員ですので、8番については許可とすることに決定しました。 続きまして、「議案第12号 農地法第5条の規定による許可申請について」を議題といたします。8番について事務局から説明 をお願いします。
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第12号8番朗読説明 －</p> <p>8番は、転用者が、譲渡人から申請農地の所有権を取得し、露天駐車場用地に転用するものです。申請農地は、畑1筆26㎡で す。この農地の農地区分は、第2種農地となります。転用地の10a当たりの価格は、1,538万円です。施設の概要としては、 隣地の雑種地89㎡を含めて、露天駐車場3台分115㎡です。この案件につきまして、許可基準に沿って検討いたしましたが、 信用につきましては、過去に違反転用等はありません。転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意につきましては、該当ありま せん。行政庁の免許、許可、認可等の処分の見込みにつきましては、該当はありません。以上のことから、農地法第5条第2項の 不許可要件には該当せず、許可要件の全てを満たしていると考えます。この案件については、7月5日に担当委員と現地調査を行 っています。地図等は、7ページ及び8ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
議 長 小林委員	事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんからご報告をお願いします。 この案件につきましては、先ほど事務局から説明がありましたとおり、車社会ということで、家族が増えて子どもも居り、駐車 場が必要ということになり、隣の家の方に相談したところ、こころよく譲ってくださることになったものです。何ら問題ないと思 われます。ご審議よろしくお願いいたします。
議 長	現地の状況については、ただ今の報告のとおりです。何か発言はありますか。 (「なし」と呼ぶ者あり。)
議 長	なしとの声がありました。8番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)
議 長	挙手全員ですので、8番については許可とすることに決定しました。

三宅書記	<p>続きまして、「議案第13号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。事務局、一括で説明をお願いします。</p> <p>農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定についてご説明いたします。1、公告日は令和4年7月20日、2、利用権の設定を受ける者は11名、3、利用権の設定をする者は11名、4、利用権の設定をする件数は10件、5、利用権設定面積は27,250㎡となっています。6で各筆明細です。</p>
議 長	<p>— 議案書にもとづいて、個別の農用地利用集積計画の内容を朗読説明 —</p> <p>事務局から説明がありましたが、1番から10番について発言をお願いします。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
議 長	<p>なしとの声がありました。1番から10番について一括で採決をとります。1番から10番について、決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>(挙手全員)</p>
議 長	<p>挙手全員ですので、1番から10番について決定しました。</p> <p>続きまして、「議案第14号 高粱農業振興整備計画の変更について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p> <p>— 議案第14号朗読説明 —</p>
三宅書記	<p>議案第14号 高粱農業振興地域整備計画の変更について説明いたします。議案9ページをご覧ください。農用地区域の除外5件の申し出があります。</p> <p>1番について説明します。変更事由ですが、申請者の現自宅は老朽化が著しく、家族が増えたことにより手狭になったため住宅環境の良い土地に住宅を新築することを検討していました。そのため現自宅から近く、広い道路に面している土地を探したところほかに住宅に適した土地がないため、やむなく対象農地を選択したものです。申出地は、東側：宅地、西側：公衆用道路、南側：田、北側：田に隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われま。次に、開発計画の概要です。土地は、田1筆686㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じです。転用目的は、一般住宅の新築で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。</p> <p>14ページに位置図と公図、15ページに土地利用計画図を掲載しています。</p> <p>2番について説明します。変更事由ですが、転用事業者は建設業の事業拡大に伴い、資材置き場、建設機械の駐車場の整備を行いたいと考えております。そのため現在使用している駐車場では必要面積が確保できず、ほかに適した土地がないため、本社から近く市道に面し運搬効率の良い周辺土地を探したところ、やむなく対象農地を選択したものです。また、現在の駐車場は賃貸であり、今後は事業拡大と合わせて、購入した現農地へ集約することを予定しています。申出地は、南側および東側：公衆用道路、北側および西側：耕作予定のない農地に隣接しており、周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われま。次に、開発計画の概要です。土地は、田2筆1,571㎡です。転用事業者は、土地所有者とは別の方です。転用目的は、駐車場造成・資材置き場で、事業計画の時期は、令和4年12月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。</p>

以上が許可基準からみた検討結果です。16ページに位置図と公図、17ページに土地利用計画図を掲載しています。

3番について説明します。変更事由ですが、転用事業者は、現在は自宅兼事務所として事業を展開しており、事業拡大に伴い、事務所、駐車場、資材置き場の整備を行いたいと考えております。そのため実家所有地内で検討を行いました。ほかに適した土地がないため、やむなく対象農地を選択したものです。申出地は、北側：住宅、東側：公衆用道路、西側および南側：農地に隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われ。次に、開発計画の概要です。土地は、田1筆683㎡です。転用事業者は、土地所有者とは別の方です。転用目的は、事務所・駐車場造成・資材置き場で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。18ページに位置図と公図、19ページに土地利用計画図を掲載しています。

4番について説明します。変更事由ですが、申請者の所有する墓地は、急峻な山腹にあることに加え、高齢により、墓参りが困難となっているため、墓地を移設したいと考えております。自宅の付近で土地を探したところ、ほかに適した土地がないため、やむなく対象農地を選択したものです。申出地は、東側・西側・南側・北側：全て原野に隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われ。次に、開発計画の概要です。土地は、田1筆146㎡の内47㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じです。転用目的は、墓地設置で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、墓地埋葬法の許認可見込みです。以上が許可基準からみた検討結果です。20ページに位置図と公図、21ページに土地利用計画図を掲載しています。

5番について説明します。変更事由ですが、申請者は現在、当該農地周辺のほ場を管理しており、この度、ほ場近くの土地に住宅を新築することを検討しています。農家住宅及び作業場を建設するための必要面積を確保するためには、ほかに適した土地がないため、やむなく対象農地を選択したものです。申出地は、申請者の耕作する畑および公衆用道路に隣接しており、周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われ。次に、開発計画の概要です。土地は畑1筆893㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じです。転用目的は、農家住宅の新築、作業場兼倉庫で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。22ページに位置図と公図、23ページに土地利用計画図を掲載しています。

説明を終わりますが、発言はありますか。

4番についてですが、利用計画図の申請農地の中に進入路という記載があるが、その隣の土地の地目は何になっていますか。

隣は申請者の家屋がある土地になりますので宅地になります。

農地ではないのですね。わかりました。

今までは、農業振興地域整備計画の議案には現地写真が付いていたが、今回は付いていないので現場の状況が分かりにくい。付いていない理由が何かあるのでしょうか。現地写真を付けてくれるようお願いしたい。

議長
小林委員
三宅書記
小林書記
中曾委員

<p>内田局長 中曾委員 議長</p>	<p>次回の農業振興地域整備計画の議案には現地写真を付けるようにいたします。 よろしくお願ひします。</p>
<p>議長</p>	<p>他にありませんか。 （「なし」と呼ぶ者あり。）</p>
<p>議長</p>	<p>なしとの声がありました。「議案第14号 高梁農業振興地域整備計画の変更について」について適当と決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p>
<p>議長</p>	<p>（挙手全員） 挙手全員ですので、「議案第14号 高梁農業振興地域整備計画の変更について」は適当であると決定しました。</p>
<p>三宅書記</p>	<p>続きまして、「議案第15号 有漢農業振興計画の変更について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします － 議案第15号朗読説明 －</p>
	<p>議案第15号 有漢農業振興地域整備計画の変更について説明いたします。議案11ページをご覧ください。農用地区域の除外3件の申し出があります。</p>
	<p>1番と2番は関連がありますので、一括して説明いたします。変更事由ですが、高梁市が工業団地を造成する予定にあたり、市内各所を検討したものの、高速道路や国道へアクセスしやすく利便性等を考慮した結果、当該地が適地であると判断されたものです。また、周囲の地権者の方々も今回の事業について賛同しており全面的に協力をを行う予定であるとのこと。市が想定している企業誘致は、製造業を営む会社を希望しており、その誘致が決定すると地域の雇用創出できることが期待できます。申出地は、周辺は宅地または公衆用道路に囲まれており、また隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われます。次に、開発計画の概要です。1番についてですが、土地は田8筆3,760㎡です。転用事業者は高梁市であり、土地所有者は別の方です。2番についてですが、土地は田25筆17,344㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じで高梁市です。転用目的は、工業団地造成で、事業実施の時期は、令和5年5月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題ははありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、都市計画法第29条許認可見込みです。以上が許可基準からみた検討結果です。24ページおよび26ページに位置図と公図、25ページに土地利用計画図を掲載しています。</p>
	<p>3番について説明します。変更事由ですが、申請者が自身の所有する土地に分家住宅を新築することを検討しているというものです。自身が所有する土地では、ほかに適した土地がないため、やむなく対象農地を選択しました。申出地は、北側：住宅、東側：自身の田、南側：公衆用道路、西側：自宅進入路に隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われます。次に、開発計画の概要です。土地は、田2筆633㎡の内326㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じです。転用目的は、分家住宅の新築で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題ははありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。27ページに位置図と公図、28ページに土地利用計画図を掲載しています。</p>
<p>議長 西村委員</p>	<p>説明を終わりますが、発言はありますか。 議案を1番と2番に分けた理由は何ですか。</p>

<p>三宅書記 西村委員 中藤次長</p>	<p>土地の所有者が個人か高梁市かということで分けております。 個人が持たれている農地と高梁市の所有になっている農地があるのはなぜか。 本案件は農地法の適用除外案件であります。用地買収が終わった農地は高梁市の名義になっており、用地買収が完了していない農地が個人の名義で残っております。</p>
<p>西村委員 中曾委員 中藤次長 中曾委員 議 長</p>	<p>わかりました。 農振農用地の農地を高梁市が所有できている経緯を教えて欲しい。 今回の工業団地の造成については、農地法の適用除外案件になりますので、購入することができるものです。 わかりました。 他にありませんか。 (「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。「議案第15号 有漢農業振興地域整備計画の変更について」について適当と決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手多数)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手多数ですので、「議案第15号 有漢農業振興地域整備計画の変更について」は適当であると決定しました。 続きまして、「議案第16号 川上農業振興計画の変更について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします － 議案第16号朗読説明 －</p>
<p>三宅書記</p>	<p>議案第16号 川上農業振興地域整備計画の変更について説明いたします。議案13ページ上段をご覧ください。農用地区域の除外1件の申し出があります。 1番について説明します。変更事由ですが、申請者が墓参りに行く際、近隣に駐車場がないため、徒歩で長距離移動する必要があることや法事等で親族が集まる際に付近に駐車場がないため、整備を行いたいというものです。そのため墓地及び道路に面しており、親族を含めた車両分の駐車場の整備ができる面積で周辺土地を探したところ、ほかに適した土地がないため、やむなく対象農地を選択したものです。申出地は、東側：畑、西側：宅地、南側：畑、北側：公衆用道路に隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われまます。次に、開発計画の概要です。土地は、畑1筆244㎡です。転用事業者は、土地所有者とは別の方です。転用目的は、墓地駐車場で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありませぬ。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。29ページに位置図と公図、30ページに土地利用計画図を掲載しています。</p>
<p>議 長</p>	<p>説明を終わりますが、発言はありますか。 (「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。「議案第16号 川上農業振興地域整備計画の変更について」について適当と決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、「議案第16号 川上農業振興地域整備計画の変更について」は適当であると決定しました。</p>

<p>三宅書記</p>	<p>続きまして、「議案第17号 備中農業振興計画の変更について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします</p> <p style="text-align: center;">－ 議案第17号朗読説明 －</p> <p>議案第17号 備中農業振興地域整備計画の変更について説明致します。議案13ページ中段から下段をご覧ください。農用地区域の除外2件の申し出があります。</p> <p>1番について説明します。変更事由ですが、申請者の息子夫婦が実家付近で分家自宅の新築を計画しており、自宅の付近で土地を探したところ、ほかに適した土地がないため、やむなく当該農地を選択したものです。自宅の建築中に農業振興地域農用地であると判明し、変更申出書の提出があったため、現地を確認のうえ追認するものです。申出地は、東側：公衆用道路、西側：山林、南側：公衆用道路、北側：山林に隣接しており周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われます。次に、開発計画の概要です。土地は畑1筆885㎡の内60.3㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じです。転用目的は、分家住宅の新築で、事業計画の時期は、令和4年5月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。31ページに位置図と公図、32ページに土地利用計画図を掲載しています。</p> <p>2番について説明します。変更事由ですが、申請者の所有する土地に分家住宅を新築することを検討しており、自身が所有する土地では、ほかに適した土地がないため、やむなく対象農地を選択したものです。申請者は、定年退職を機に実家近くに帰り、周辺農地の維持管理をすすめる予定であります。申出地は、北側：自身の田、東側：市道、南側：現在使用予定のない畑、西側：山林があり、南側に畑はあるものの、耕作予定もなく水路も活用しないため、周囲の耕作や他の農業者の利用集積に支障を及ぼす恐れはないと思われます。次に、開発計画の概要です。土地は畑1筆1,400㎡の内500㎡です。転用事業者は、土地所有者と同じです。転用目的は、分家住宅の新築で、事業計画の時期は、令和4年11月頃です。農業投資実施状況はありません。計画変更上留意すべき事項については、農振法第13条第2項1号から5号の要件を満たし、特段問題はありません。農地転用の確実性については、令和4年6月15日に農林課、農業委員会事務局とで現地を確認しております。また、他法令の許認可見込みについては、特段ありません。以上が許可基準からみた検討結果です。33ページに位置図と公図、34ページに土地利用計画図を掲載しています。</p>
<p>議長 中曾委員 中藤次長</p>	<p>説明を終わりますが、発言はありますか。</p> <p>議案第17号1番の案件について、追認するということですが、事業計画の時期が令和4年5月頃となっているのが気になる。今回の議案につきましては、あくまでも農振農用地除外の議案になります。農地転用許可申請をされる時点で改めて始末書を付けてもらい、説明させていただこうと思うのでよろしく願いいたします。</p>
<p>中曾委員 議長</p>	<p>わかりました。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>（「なし」と呼ぶ者あり。）</p>
<p>議長</p>	<p>なしとの声がありました。「議案第17号 備中農業振興地域整備計画の変更について」について適当と決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>（挙手全員）</p>
<p>議長</p>	<p>挙手全員ですので、「議案第17号 備中農業振興地域整備計画の変更について」は適当であると決定しました。</p>

以上で、本日の議案の審議はすべて終了しました。それでは、以上をもちまして、高梁市農業委員会第4回総会を閉会します。

令和4年7月11日

会 長 土 岐 康 夫

16番 清 水 健 治

1番 深 本 文 雄